

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和5年9月13日(2023.9.13)

【国際公開番号】WO2023/021908

【出願番号】特願2023-540833(P2023-540833)

【国際特許分類】

H 0 1 F 17/00(2006.01)

H 0 1 F 17/04(2006.01)

H 0 1 F 27/06(2006.01)

H 0 1 F 27/28(2006.01)

H 0 5 K 1/16(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 F 17/00 D

H 0 1 F 17/04 A

H 0 1 F 27/06 1 0 3

H 0 1 F 27/28 K

H 0 1 F 27/28 1 0 4

H 0 5 K 1/16 B

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月3日(2023.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上下方向の一方が第1方向であり、上下方向の他方が第2方向であり、

30

基板モジュールは、

上下方向に並ぶ第1積層体第1主面及び第1積層体第2主面を有している第1積層体と

、
上下方向に並ぶ第2積層体第1主面及び第2積層体第2主面を有しており、かつ、前記第1積層体より前記第2方向に位置し、かつ、上下方向に見て前記第1積層体と重なっている第2積層体と、

前記第1積層体に設けられている第1コイルであって、上下方向に延びる第1コイル軸の周囲を周回する螺旋形状を有している第1コイルと、

前記第2積層体に設けられている第2コイルであって、上下方向に延びる第2コイル軸の周囲を周回する螺旋形状を有している第2コイルであって、上下方向に見て、前記第1コイルと重なっている第2コイルと、

40

を備えており、

前記第1積層体は、前記第2積層体に対して固定されており、

上下方向に見た前記第2積層体の面積は、上下方向に見た前記第1積層体の面積より大きく、

前記第1コイルは、前記第2コイルと電氣的に接続されており、

前記第1コイルは、上下方向に見て、前記第1コイル軸の周囲を周回する1以上の第1コイル導体を含んでおり、

前記第2コイルは、上下方向に見て、前記第2コイル軸の周囲を周回する1以上の第2コイル導体を含んでおり、

50

上下方向に見て、前記第 1 コイル導体及び前記第 2 コイル導体が延びる方向に直交する方向は、線幅方向であり、

前記第 1 コイル導体の周回数と前記第 1 コイル導体の前記線幅方向の幅との積は、前記第 2 コイル導体の周回数と前記第 2 コイル導体の前記線幅方向の幅との積より小さい、基板モジュール。

【請求項 2】

前記第 2 積層体第 1 主面は、前記第 2 積層体第 2 主面より前記第 1 方向に位置しており、

前記基板モジュールは、

前記第 2 積層体第 1 主面に実装される実装部品を、

更に備えている、

請求項 1 に記載の基板モジュール。

10

【請求項 3】

前記実装部品は、磁石の磁力を検知する磁気センサである、

請求項 2 に記載の基板モジュール。

【請求項 4】

前記磁気センサは、上下方向に見て、前記第 1 コイル及び前記第 2 コイルに囲まれている、

請求項 3 に記載の基板モジュール。

【請求項 5】

前記第 1 積層体には、前記第 1 積層体を上下方向に貫通する貫通孔が設けられており、

前記磁気センサの少なくとも一部は、前記貫通孔内に位置している、

請求項 3 又は請求項 4 に記載の基板モジュール。

20

【請求項 6】

前記第 1 積層体第 1 主面は、前記第 1 積層体第 2 主面より前記第 1 方向に位置しており、

前記磁気センサの前記第 1 方向の端は、前記第 1 積層体第 1 主面より前記第 2 方向に位置している、

請求項 3 又は請求項 4 に記載の基板モジュール。

【請求項 7】

前記実装部品と前記第 2 コイルとが互いに電氣的に接続されている、

請求項 2 に記載の基板モジュール。

30

【請求項 8】

前記第 1 コイル導体の周回数は、前記第 2 コイル導体の周回数より少ない、

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の基板モジュール。

【請求項 9】

前記第 1 コイル導体の前記線幅方向の幅は、前記第 2 コイル導体の前記線幅方向の幅より小さい、

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の基板モジュール。

【請求項 10】

前記第 1 積層体は、複数の第 1 樹脂層が上下方向に積層された構造を有しており、

前記第 2 積層体は、複数の第 2 樹脂層が上下方向に積層された構造を有している、

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の基板モジュール。

40

【請求項 11】

前記第 2 樹脂層の材料は、前記第 1 樹脂層の材料と同じである、

請求項 10 に記載の基板モジュール。

【請求項 12】

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の基板モジュールと、

前記第 1 コイルより前記第 1 方向に位置し、かつ、上下方向に見て、前記第 1 コイルと重なる磁石と、

50

を備えており、
前記第 1 コイル及び前記第 2 コイルが発生する磁力により、前記磁石の前記第 1 コイル
及び前記第 2 コイルに対する位置が変化する、
駆動モジュール。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載の駆動モジュールと、
前記駆動モジュールを収容している筐体と、
を備えている、
電子機器。

10

20

30

40

50